

令和2年度 みなみさいごうのぞみ保育園 事業報告書

【施設運営状況】

- ・当初、0歳児の定員が9名でしたが、フリー保育士が0歳児の担任として入れることになったため、10月より、定員を11名にしました。0歳児の待機児童がいたため、10月より2名受け入れができ、11名の保育が可能となりました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者は、各家庭1名の入室とし、保育室前での受け入れ受け渡しをしました。その際に、必ず保育士が保護者と丁寧に対応するようにしました。

【職員の状況】

職名	令和2年4月1日の職員数				年間退任・就任								令和3年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	契 約 職 員	非常勤A		非常勤B			契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			常 勤 換 算	
									就 任	退 任	就 任									退 任
園長	1			1									1	1				1	1	
主任	1			1									0	1				1	1	
保育士	13		2	15	1	2				1	1		5	13		2	1	16	15	
看護師	1			1									0	1				1	1	
栄養士	1			1									0	1				1	1	
調理員	2			2									0	2				2	2	
保育補助	0		1	1									0	0		1		1	1	
調理補助	0			0									0	0				0	0	
事務員	1			1									0	1				1	1	
嘱託医	0	2		2									0	0	2			2	1	
計	20	2	3	25		2				1	1	1	5	20	2	3	1	26	24	

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

- ・子どもが安心して生活ができる環境を整え、主体性が育つよう一人一人に寄り添った保育を行っている。
- ・天気の良い日は、外での遊びを多く取り入れている。園は、自然に囲まれているので、乳児も積極的に散歩に出かけ、四季を感じ自然に触れる経験を大切にしている。
- ・食育に関心をもてるよう給食展示コーナーにその日のメニュー、使用した食材を展示し、親子会話が広がるように工夫している。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和2年度	5	15	14	26	8	1	69
令和3年度	7	18	18	29	27	12	111

【主なできごと】

年間行事実施状況 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施
- 防犯訓練 日本防災通信協会の講話を聞く(1回)
防犯訓練(1回)
- 健康管理
 - ・園児は毎日の体調を記入する健康観察カードの提出をし担任がチェックする。
 - ・玄関前の保健ボードで流行している感染性の病気についてお知らせする。
 - ・保護者の入室は、1家庭1名とし、手指消毒をしてからの入室とした。
 - ・嘱託医による園児の健康診断、内科健診年2回、歯科検診年1回、職員の定期健康診断年1回、細菌検査を毎月行った。
 - 調理職員は、ノロウイルス検査を(10月～3月)に実施した。
 - ・食物アレルギー児が5名いるので、生活管理指導表をもとに、個別に食事提供をした。
- 衛生管理 子どもが触れるもの、口に入れてしまう玩具は、必要に応じてこまめな消毒を行った。
扉、指紋認証等不特定の方が触れる箇所は、毎日定期的に消毒を行った。
- 安全管理 毎朝の遊具点検、月一回の室内点検を行った。

地域交流

- ・地域の方が所有している共同の畑で、地域の方と4,5歳児とで、さつま芋のつる挿しから収穫、焼き芋大会を体験させていただいた。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	保護者 (口頭)	体育教室を行って欲しい。 いつから行ってくれるのか。	当該保護者の思いをじっくりと聞き、法人・園としての考えを伝えていった。子どもの安全を第一に考え、コロナの感染状況を緩和見ながら慎重に検討しているので、その時がくるまで、お待ちいただくように伝えた。
1件	保護者 (手紙)	担任が子どもへかける言葉が強い。	当該保護者に、具体的な内容を聞いていった。保護者からは、担任には名前を言わないで欲しいとの要望があったため、担任には、言葉がけを振り返り、反省をし、言葉の伝え方の指導をした。指導した内容を、当該保護者に伝え、謝罪した。